

2026年12月期 第2四半期業績 説明会資料



AGC株式会社

2026年8月4日

Your Dreams, Our Challenge

2026年12月期 第2四半期業績	p. 4
1. 業績のポイントと主要項目	p. 5
2. セグメント別の状況	p. 12
2026年通期業績の見通し	p. 19
成長戦略の進捗について	p. 30
付属資料	p. 41

第2四半期実績（累計）

- 前年同期比1,051億円増収、106億円増益
 - 売上高は、円安効果に加え、エッセンシャルケミカルズ東南アジアやインテグレイテッドケミカルズ、電子部材の出荷増、インテグレイテッドケミカルズや欧州建築ガラスの価格政策が寄与
 - 営業利益は、上述の増収要因に加え、ライフサイエンスの損益改善が寄与

通期業績見通し

- 通期業績見通しは据え置き
- 中東情勢影響は引き続き軽微と見込む

2026年12月期 第2四半期業績

1. 業績のポイントと主要項目

2026年12月期 第2四半期業績（累計）

		(億円)		
		FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計	増減
売上高		9,955	11,006	+ 1,051*
営業利益		540	647	+ 106
税引前利益		338	603	+ 266
親会社の所有者に帰属する 当期純利益		139	355	+ 216
為替レート (期中平均)	1USD	JPY 148.6	JPY 158.2	
	1EUR	JPY 162.2	JPY 184.5	
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	71.93	91.20	

* うち、為替差影響は+679億円、連結範囲変更の影響は▲16億円

主な変動要因

増収要因

- 円安効果
- エッセンシャルケミカルズ東南アジアやインテグレイテッドケミカルズ、電子部材の出荷増
- インテグレイテッドケミカルズや欧州建築ガラスの価格政策

減収要因

- 欧米建築ガラスの出荷減

上述の要因に加え、

増益要因

- ライフサイエンスの損益改善

減益要因

- 製造コスト上昇

上述の要因に加え、

増益要因

- 為替差益
- 減損損失(バイオ医薬品CDMO)の剥落

減益要因

- 事業構造改善費用の増加

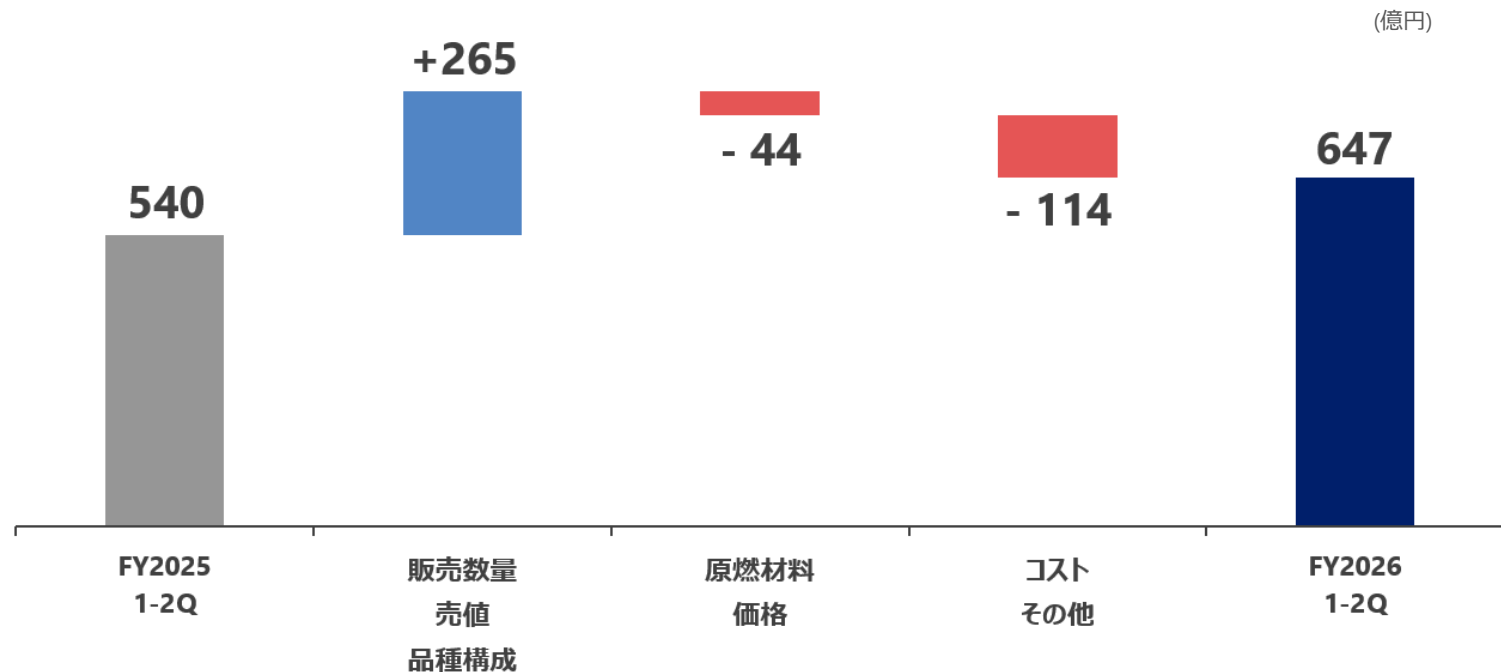
セグメント別業績 前年同期比較

(億円)

	FY2025 1-2Q累計 (a)		FY2026 1-2Q累計 (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	2,108	32	2,293	88	+ 185	+ 55
 オートモーティブ	2,557	151	2,803	133	+ 246	▲ 18
 電子	1,681	244	1,744	187	+ 62	▲ 57
 化学品	2,859	225	3,320	282	+ 462	+ 56
 ライフサイエンス	635	▲ 119	723	▲ 61	+ 88	+ 59
 セラミックス・その他	280	6	243	15	▲ 37	+ 9
消去	▲ 166	0	▲ 120	2	+ 46	+ 2
合計	9,955	540	11,006	647	+ 1,051	+ 106

営業利益増減要因分析 (1-2Q FY2026 vs 1-2Q FY2025)

前年同期比 106億円増益



連結財政状態計算書

	2025/12/31	2026/6/30	(億円) 増減
現金及び現金同等物	947	876	▲ 71
棚卸資産	4,654	4,959	+ 304
有形固定資産・無形資産及びのれん	17,604	17,662	+ 58
その他	6,296	6,567	+ 271
資産合計	29,501	30,063	+ 562
有利子負債	6,465	6,732	+ 267
その他	5,719	5,759	+ 41
負債の部	12,184	12,491	+ 307
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,851	15,283	+ 432
非支配持分	2,466	2,289	▲ 177
資本の部	17,317	17,572	+ 255
負債及び資本合計	29,501	30,063	+ 562
D/E比率	0.37	0.38	

為替差影響
+329億円

為替差影響
+256億円

連結キャッシュフロー計算書

	(億円)	
	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計
税引前利益	338	603
減価償却費及び償却費	882	978
運転資金増減	26	▲ 402
その他	▲ 74	▲ 131
営業活動によるCF	1,171	1,049
投資活動によるCF	▲ 877	▲ 948
フリーキャッシュフロー	294	101
有利子負債増減	▲ 57	274
支払配当	▲ 223	▲ 223
その他	▲ 58	▲ 260
財務活動によるCF	▲ 338	▲ 209
現金等に係る換算差額等	▲ 31	37
現金等の増減額	▲ 75	▲ 71

非支配持分株主への
支払配当
▲266億円

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計
設備投資額	969	901
建築ガラス	139	156
オートモーティブ	154	162
電子	185	264
化学品	386	208
ライフサイエンス	90	109
セラミックス・その他	15	19
消去	▲ 0	▲ 16

	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計
減価償却費	882	978
建築ガラス	127	144
オートモーティブ	157	163
電子	246	263
化学品	271	326
ライフサイエンス	74	73
セラミックス・その他	8	8
消去	▲ 1	▲ 1

	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計
研究開発費	285	288

2026年 主な設備投資 案件

- 建築ガラス製造窯修繕（建築ガラス）
- 電子部材関連製造設備増強（電子）
- バイオ医薬品CDMO能力増強（ライフサイエンス） など

2. セグメント別の状況

	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計	増減
売上高	2,108	2,293	+ 185 *
アジア	707	712	+ 5
欧米	1,387	1,574	+ 186
(セグメント間)	14	8	▲ 6
営業利益	32	88	+ 55

* うち、為替差影響は+211億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

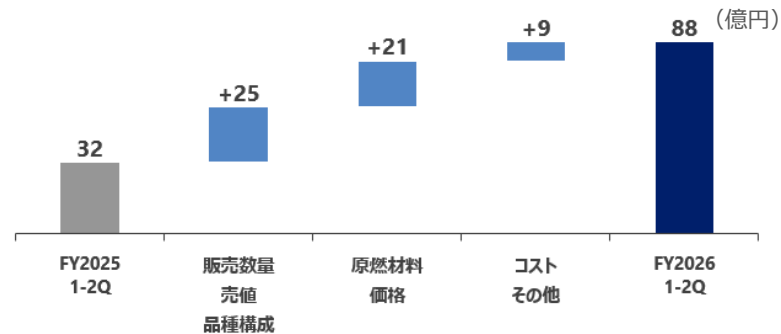
売上高

- 円安による増収効果
- アジア：出荷が日本で減少した一方、東南アジアでは増加
東南アジアの販売価格は下落
- 欧米：出荷が減少したものの、欧州での価格政策が寄与

営業利益

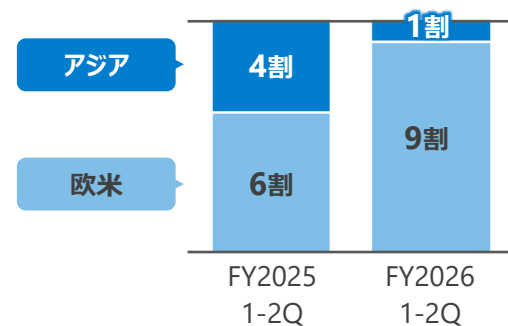
- 上述の増収要因等が寄与

営業利益増減要因分析



営業利益 構成比

共通費配賦前



	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計	増減
売上高	2,557	2,803	+ 246 *
オートモーティブ	2,556	2,802	+ 246
(セグメント間)	1	1	▲ 0
営業利益	151	133	▲ 18

* うち、為替差影響は+185億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

売上高

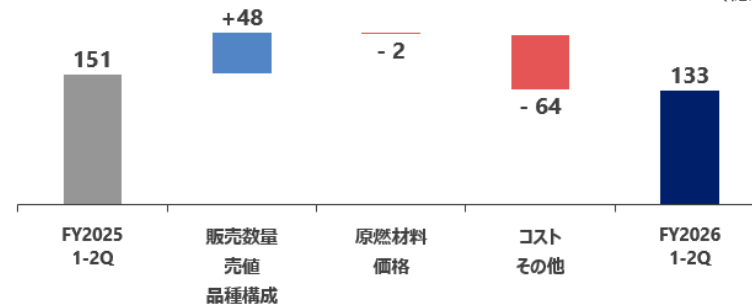
- 円安による増収効果
- 中東向け自動車輸出減少の影響は軽微
- 日本・欧州・北米で販売数量が増加し、品種構成も改善

営業利益

- 上述の増収要因があったものの、欧米で製造コストが上昇

営業利益増減要因分析

(億円)



	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計	増減
売上高	1,681	1,744	+ 62 *
ディスプレイ	901	900	▲ 0
電子部材	772	831	+ 59
(セグメント間)	9	12	+ 3
営業利益	244	187	▲ 57

* うち、為替差影響は+32億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

売上高

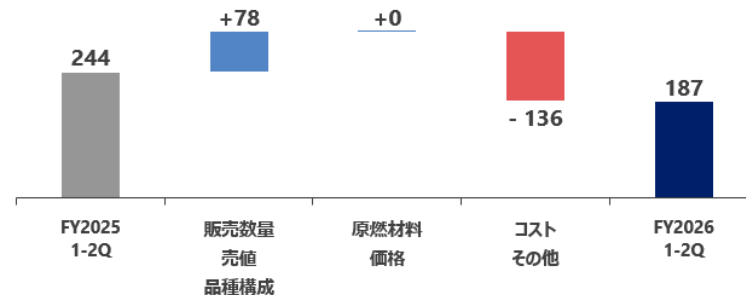
- ディスプレイ：液晶ディスプレイ用ガラス基板の販売価格が上昇
事業撤退を決定している化学強化用特殊ガラスの出荷が減少
- 電子部材：EUV露光用フォトマスクブランクスの出荷は回復途上
その他の半導体関連部材及びオプトエレクトロニクスの出荷は増加
円安も寄与

営業利益

- 上述の増収要因があったものの、製造コストが上昇
- ディスプレイは円安がマイナスに影響

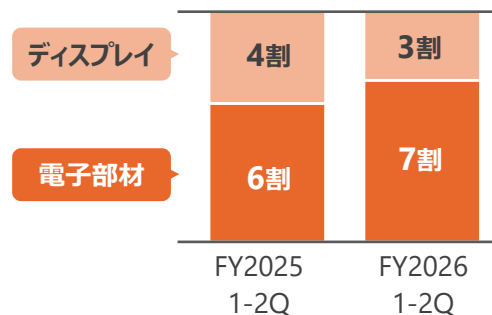
営業利益増減要因分析

(億円)



営業利益 構成比

共通費配賦前



	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計	増減
売上高	2,859	3,320	+ 462 *
インテグレイテッドケミカルズ	1,458	1,656	+ 198
エッセンシャルケミカルズ東南アジア	1,379	1,656	+ 277
(セグメント間)	22	8	▲ 14
営業利益	225	282	+ 56

* うち、為替差影響は+185億円、連結範囲変更の影響は▲14億円

(億円)

売上高

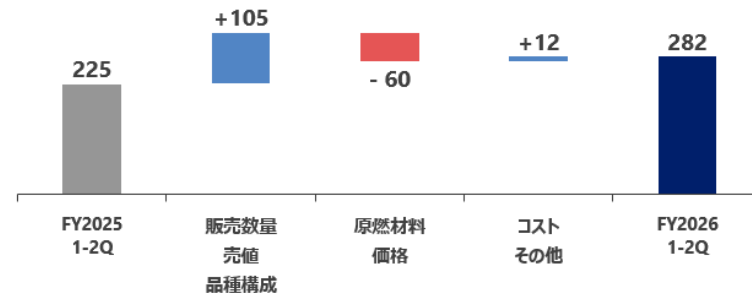
- 円安による増収効果
- インテグレイテッドケミカルズ：販売価格が上昇
半導体等エレクトロニクス向け製品等の
出荷が増加
- エッセンシャルケミカルズ東南アジア：タイの設備増強により出荷が増加

営業利益

- 原燃材料価格が上昇したものの、上述の増収要因が寄与

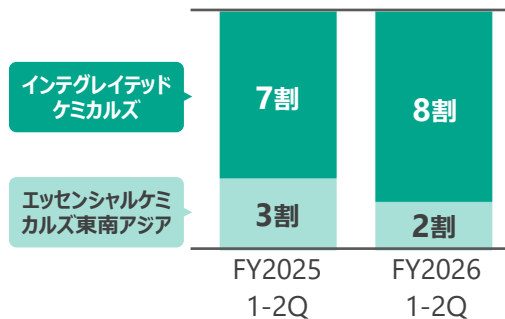
営業利益増減要因分析

(億円)



営業利益 構成比

共通費配賦前



	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計	増減
売上高	635	723	+ 88 *
ライフサイエンス	617	712	+ 95
(セグメント間)	18	11	▲ 7
営業利益	▲ 119	▲ 61	+ 59

* うち、為替差影響は+63億円、連結範囲変更の影響はなし

(億円)

売上高

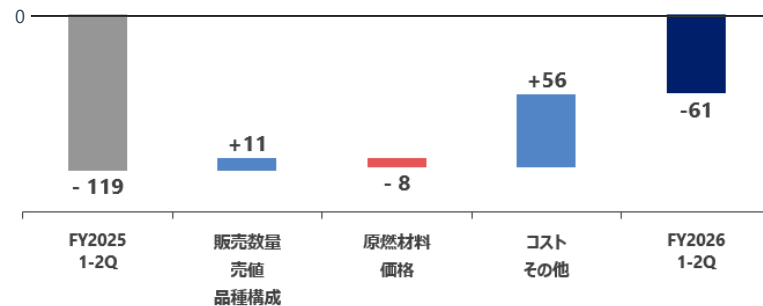
- 円安による増収効果
- 合成医農薬CDMOの受託減少も、バイオ医薬品CDMOの受託増加

営業利益

- バイオ医薬品CDMO：コロラド拠点閉鎖等による固定費削減
コペンハーゲン拠点の受託増加、生産性改善

営業利益増減要因分析

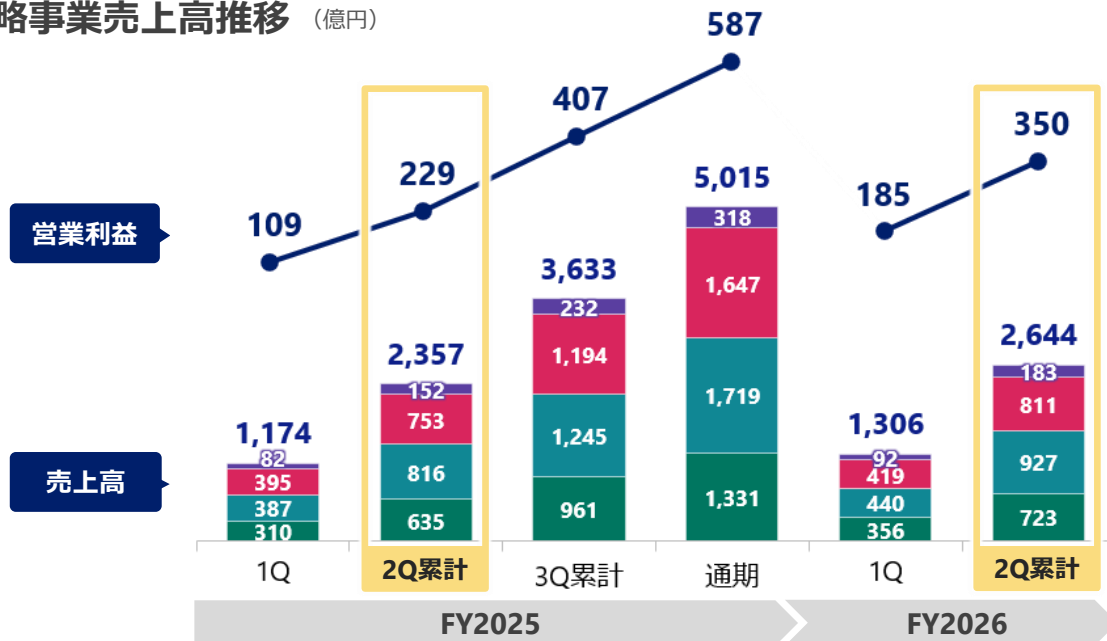
(億円)



戦略事業の業績貢献

- 全ての戦略事業の売上高が伸長し、前年同期比で増収増益
- パフォーマンスケミカルズとライフサイエンスが増益に貢献

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

モビリティ

- 車載ディスプレイ用カバーガラス
- CASE向け高付加価値品

エレクトロニクス

- 半導体関連部材
- オプトエレクトロニクス用部材
- 次世代高速通信部材

パフォーマンスケミカルズ

- 高機能化学製品 (エレクトロニクス・エネルギー・モビリティ向け等)

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMO
- バイオ医薬品CDMO

2026年12月期 通期業績の見通し

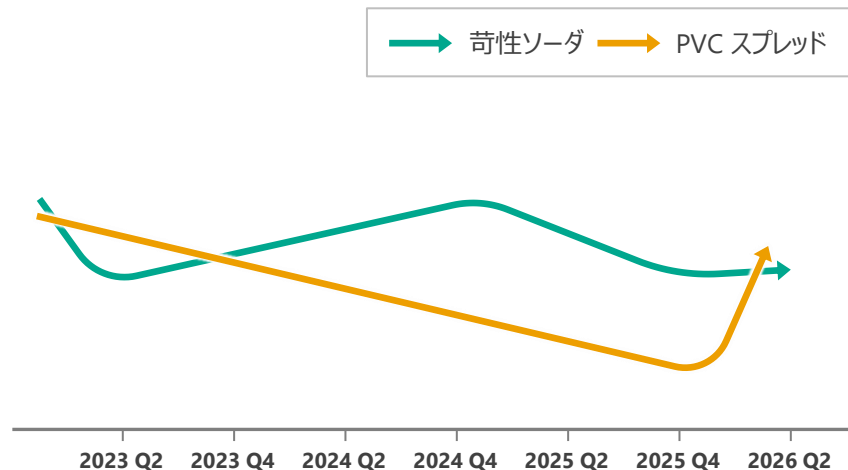
- 第2四半期：調達ソースの多様化により、必要な原燃材料を確保し供給を維持
原油・天然ガス等のコスト上昇に対し、価格調整を実施
- 下期見通し：引き続き、通期全体業績への影響は軽微と見込む
各種対策を講じ安定供給の維持に努める

現状と下期の見通し

原燃材料	調達	エチレン・プロピレン、各種資材の当面の必要量は確保済み。調達努力を継続	➡
	価格	第1四半期終盤から総じて上昇し高値で推移	⬇
販売数量	■	化学製品の生産調整を一部実施も影響は軽微	➡
製品価格		建築用ガラス、化学製品を中心に、コスト上昇に伴う価格調整を継続	⬆
対策		■ 調達ソースの多様化 ■ コスト削減 ■ 適切な稼働調整 ■ 価格適正化	⬆

- 東南アジアの堅調な需要拡大に対応すべく増設したタイの設備が2026年から本格稼働
- 中東情勢影響
 - 必要な原料を確保し、操業は概ね安定
 - 苛性ソーダ市況への影響は軽微
 - 塩ビ・エチレンスプレッドは第2四半期には改善
- 域内生産のメリットを活かした販売戦略で、収益改善を図る

東南アジアの苛性ソーダ・塩ビ市況推移イメージ



2026年12月期 通期業績見通し

■ 通期業績見通しは据え置き

		(億円)	
		FY2025	FY2026e
売上高		20,588	22,000
	(上期)	9,955	11,066
営業利益		1,275	1,500
	(上期)	540	647
税引前利益		1,248	1,240
親会社の所有者に帰属する当期純利益		692	770
1株当たり配当 (円)		210	210
営業利益率		6.2%	6.8%
ROE *		4.7%	5.2%
為替レート (期中平均)	1 USD	JPY 149.7	JPY 155.0
	1 EUR	JPY 169.0	JPY 180.0
原油 (Dubai、期中平均)	USD/BBL	69.4	100.0

セグメント別 売上高/営業利益見通し

■ セグメント別業績見通しも据え置き

(億円)

	FY2025 (a)		FY2026e (b)		増減 (b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	4,411	173	4,800	200	+ 389	+ 27
 オートモーティブ	5,206	293	5,100	320	▲ 106	+ 27
 電子	3,551	475	3,600	450	+ 49	▲ 25
 化学品	5,842	530	6,800	560	+ 958	+ 30
 ライフサイエンス	1,331	▲ 223	1,600	▲ 50	+ 269	+ 173
 セラミックス・その他	599	26	600	20	+ 1	▲ 6
消去	▲ 351	1	▲ 500	0	▲ 149	▲ 1
合計	20,588	1,275	22,000	1,500	+ 1,412	+ 225

各セグメントの下期見通し（2026年上期比）（1）

FY2026



建築ガラス

アジア

- 季節要因により、出荷は増加。日本では省エネガラスへの改修需要も見込む
- 価格調整や生産性向上の取り組みを継続

欧米

- 南米は好調を維持
- 欧州は景気低迷が継続し、出荷の回復は限定的
- 価格調整やコスト削減を実施



オートモーティブ

- 季節要因により、出荷は減少
- 品種構成改善や生産性向上の取り組みを継続

各セグメントの下期見通し（2026年上期比）（2）

FY2026



電子

ディスプレイ

- 液晶ディスプレイ用ガラス基板の出荷はやや減少
- 収益改善施策を継続

電子部材

- EUV露光用フォトマスクブランクス等の半導体関連部材は出荷増
- オプトエレクトロニクス用部材はスマートフォン市場の需要期により出荷は増加



化学品

インテグレイテッドケミカルズ

- エレクトロニクス向け製品等の出荷増

エッセンシャルケミカルズ東南アジア

- 需要は堅調に推移。増設プラントの稼働増により出荷は増加

各セグメントの下期見通し（2026年上期比）（3）

FY2026



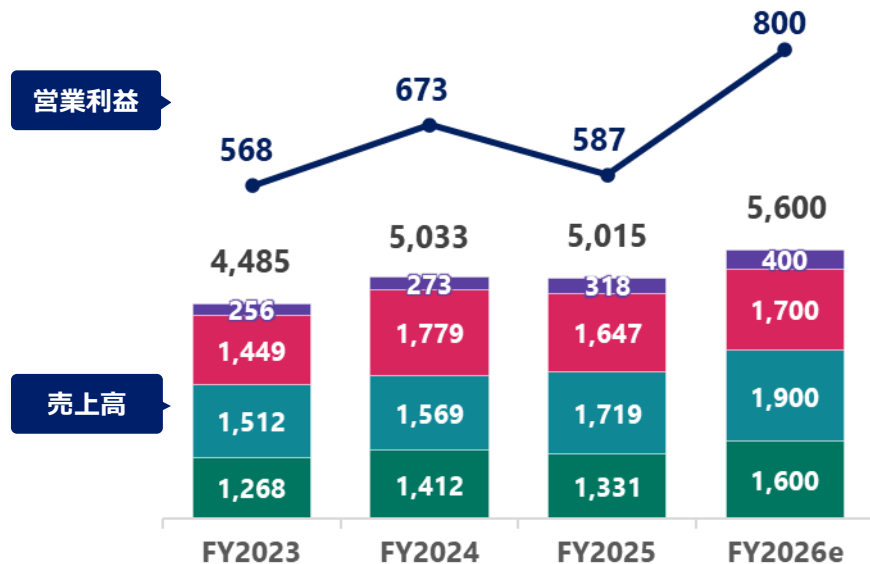
ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOは売上増加。増設設備の稼働開始等も寄与
- バイオ医薬品CDMOは、売上増加に加え、生産性が改善

戦略事業の売上高・営業利益見通し

■ 戦略事業についても通期業績見通しは据え置き

戦略事業 業績推移 (億円)



モビリティ

製品の出荷が増加

エレクトロニクス

EUV露光用フォトマスク blanks等の半導体関連部材の出荷が増加

パフォーマンスケミカルズ

エレクトロニクス向けを中心に出荷が増加

ライフサイエンス

バイオ医薬品CDMOの受託案件増加に加え合成医農薬CDMOの増設設備が稼働開始

設備投資額・減価償却費・研究開発費の見通し（本年2月発表資料再掲）

■ 2025年で大規模な能力拡大投資は一段落、2026年の設備投資を圧縮

（億円）

	FY2025	FY2026e
設備投資額	2,513	1,900
建築ガラス	331	270
オートモーティブ	431	330
電子	529	470
化学品	902	480
ライフサイエンス	281	330
セラミックス・その他	39	20
消去	▲ 0	0

	FY2025	FY2026e
減価償却費	1,798	1,830
建築ガラス	262	260
オートモーティブ	318	290
電子	496	480
化学品	554	640
ライフサイエンス	153	140
セラミックス・その他	17	20
消去	▲ 1	0

	FY2025	FY2026e
研究開発費	603	620

2026年 主な設備投資 案件

- 建築用ガラス製造窯修繕（建築ガラス）
- 自動車用ガラス加工ライン増設（オートモーティブ）
- ディスプレイ製造窯修繕（電子）
- 半導体関連他製造設備増強（電子）
- フッ素関連製品能力増強（化学品）
- バイオ医薬品CDMO能力増強（ライフサイエンス） など

成長戦略の進捗について

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters "AGC" in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the "A" and the "G".

AGC株式会社

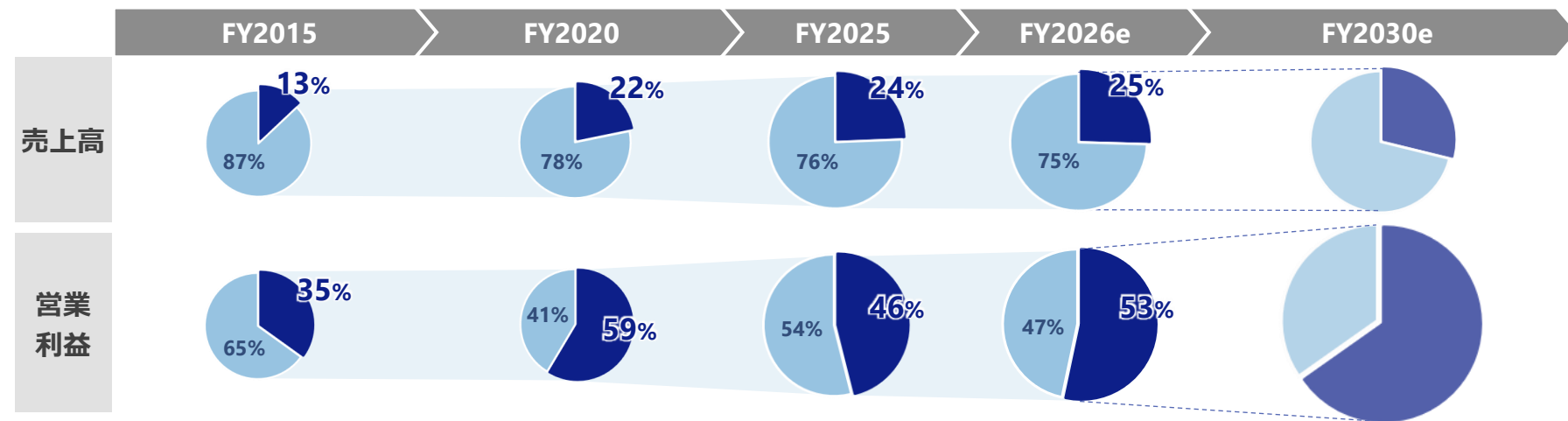
2026年8月4日

Your Dreams, Our Challenge

事業ポートフォリオ変革の方向性

- 2016年以降、戦略事業の成長による事業ポートフォリオ変革を推進
 - ライフサイエンスは、バイオ医薬品CDMO（動物細胞）の生産安定化と受注拡大に注力
 - エレクトロニクスおよびパフォーマンスキミカルズは、半導体分野が成長を牽引
- 将来の成長・変革を見据え、経営基盤の強化を着実にすすめる

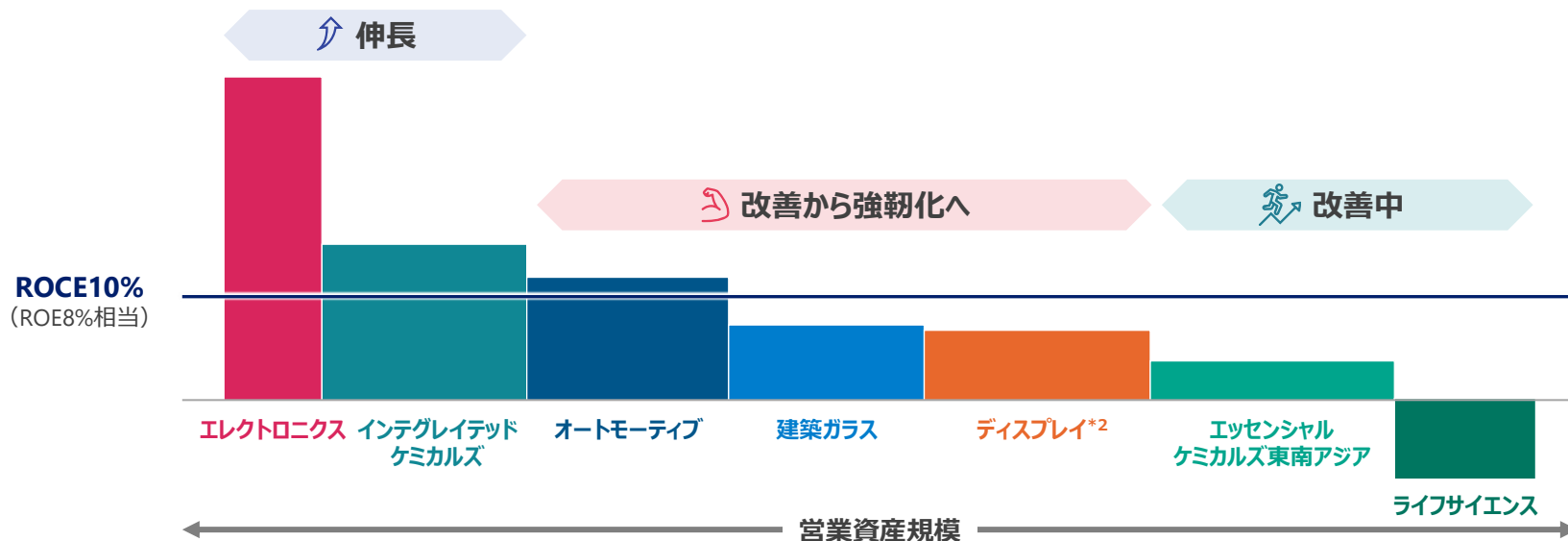
事業ポートフォリオの推移 *



事業別ROCEの状況

- エレクトロニクスとインテグレイテッドケミカルズは更に伸長
- オートモーティブ・建築ガラス・ディスプレイは改善から強靱化のフェーズへ
- エッセンシャルケミカルズ東南アジアとライフサイエンスは改善努力を継続

2025年 事業別ROCE*¹(共通費配賦前)・営業資産イメージ図



*1 ROCE = (当年度営業利益) ÷ (当年度末営業資産残高)、事業別の営業利益は共通費用配賦前 *2 化学強化用特殊ガラスを含まない

半導体製造工程別製品ラインナップ

伸長

AGC
Your Dreams, Our Challenge

- 半導体分野においても多様な先端素材製品を提供し、高シェアを獲得
- 今後は成長領域であるパッケージング材にも注力

半導体関連製品

■ エレクトロニクス ■ パフォーマンスケミカルズ

ウエハ製造～前工程（回路形成）

後工程（パッケージング）以降

ウエハ製造 酸化・薄膜 レジスト塗布 露光・現像 エッチング・イオン注入 研磨・電極 ウエハ検査 ダイシング ボンディング モールディング 最終検査

半導体プロセス用
部材／材料

半導体製造装置用
部材／材料

EUV
マスクブランクス



CMPスラリー



パッケージ用
ガラスキャリア



ペリクル原料

エッチング・
クリーニングガス材

CMP後洗浄液
開発品



離型フィルム

反射防止膜材

熱媒体
開発品

TGV^{*1}
開発品



銅張
積層板



光導波路
開発品



RCC^{*2}
開発品



封止材用
シリカ
開発品



ビルドアップ
フィルム
開発品



低誘電
アンダーフィル
開発品



低誘電
フッ素樹脂



パッケージング材

SiC治具



露光機用
レンズ材



露光機用
レンズ材



半導体製造装置部品用 フッ素樹脂・フッ素ゴム

■ チューブ ■ バルブ ■ シールリング ■ ウエハキャリア ■ 継手・ナット ■ フィルター



*1TGV（Through Glass Vias）：微細孔付きガラス基板 *2RCC（Resin Coated Copper）：樹脂付き銅箔

- AI・データセンターの先端半導体向け製品の需要増に合わせ、タイムリーに増産投資を実施



**EUV
マスク
ブランクス**



**CMP
スラリー**

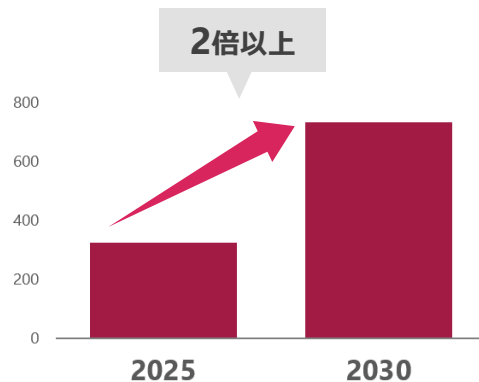


**露光用
レンズ材**

**2-5割の増産投資決定
2028年量産開始**

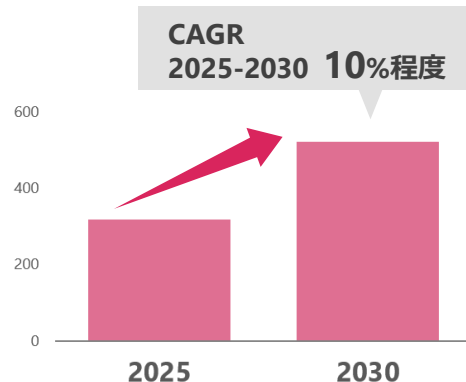
EUV露光装置累積出荷台数*1

（単位：台）



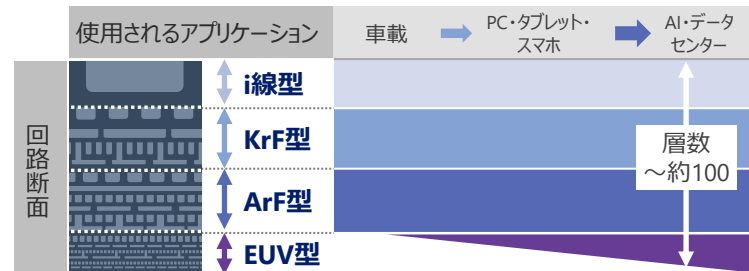
セリアスラリー市場*2

（単位：百万ドル）



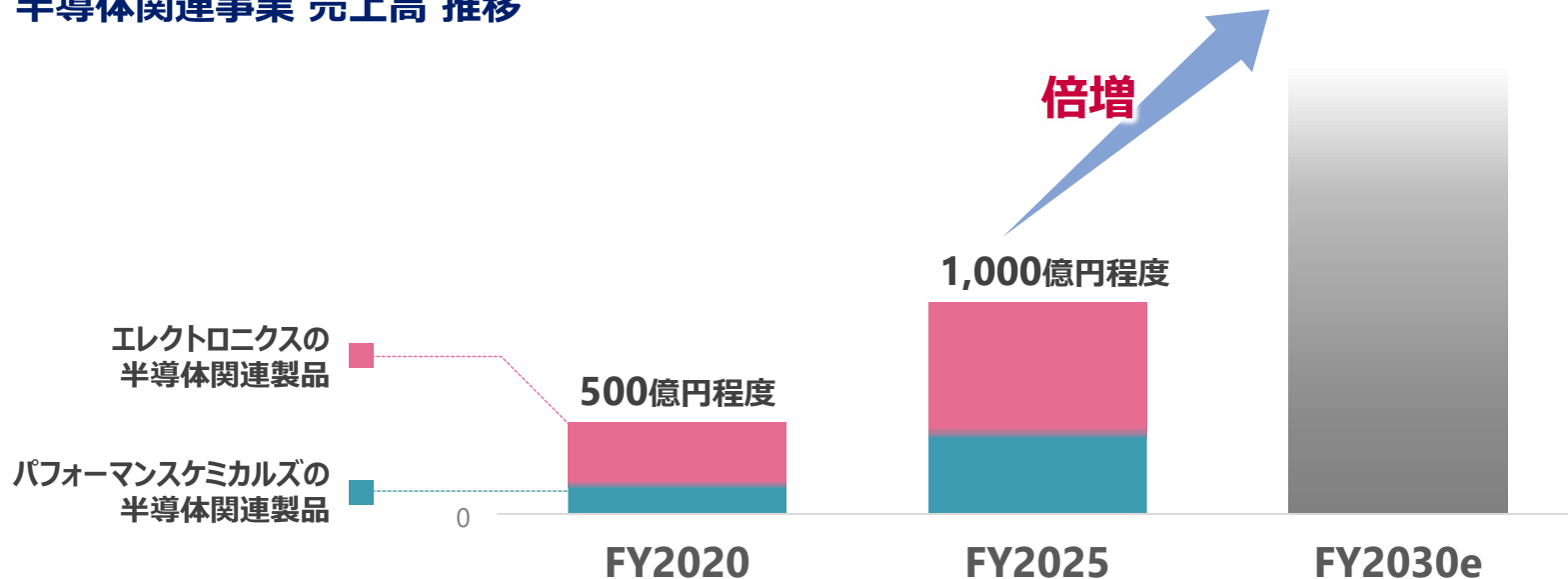
半導体回路断面イメージ

先端半導体においても、異なる線幅の回路が異なる露光方式で形成される



- AGCの総力をあげて、2030年までに売上高を2025年比倍増を目指す
- 既存製品は成長持続
- パッケージング材を中心とした新製品開発・上市にも注力

半導体関連事業 売上高 推移



オートモーティブとディスプレイ

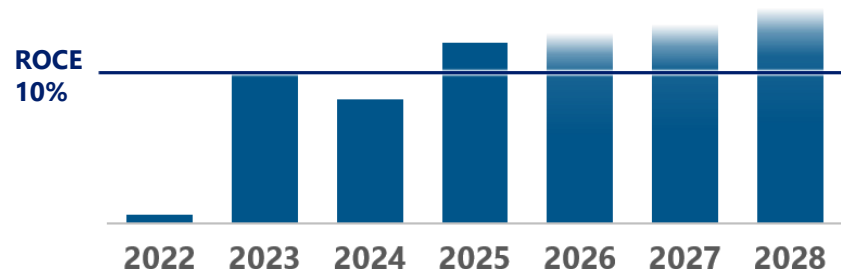


改善から強靱化へ

AGC
Your Dreams, Our Challenge

オートモーティブ

安定的にROCE10%を超え、更に伸長させる



収益改善施策

1

価格政策

製品・サービスに見合う適正な価格水準を追求

2

事業構造改革

高効率設備導入を含めた徹底的な生産性向上

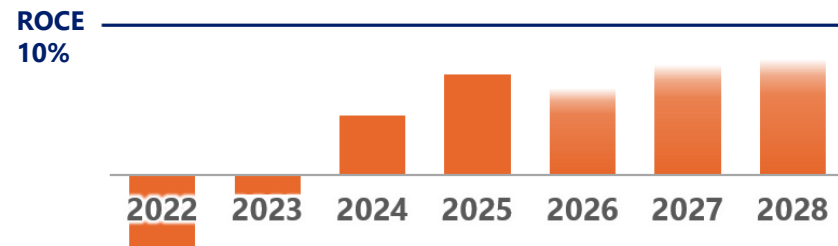
3

高機能・高付加価値化

CASEの拡大等に伴い、高付加価値品比率を向上

ディスプレイ

円安影響を受けながらもROCE10%を目指す



収益改善施策

1

事業構造改革

大型ディスプレイ用ガラス基板への集中による生産性向上

2

価格政策

製品・サービスに見合う適正な価格水準を追求

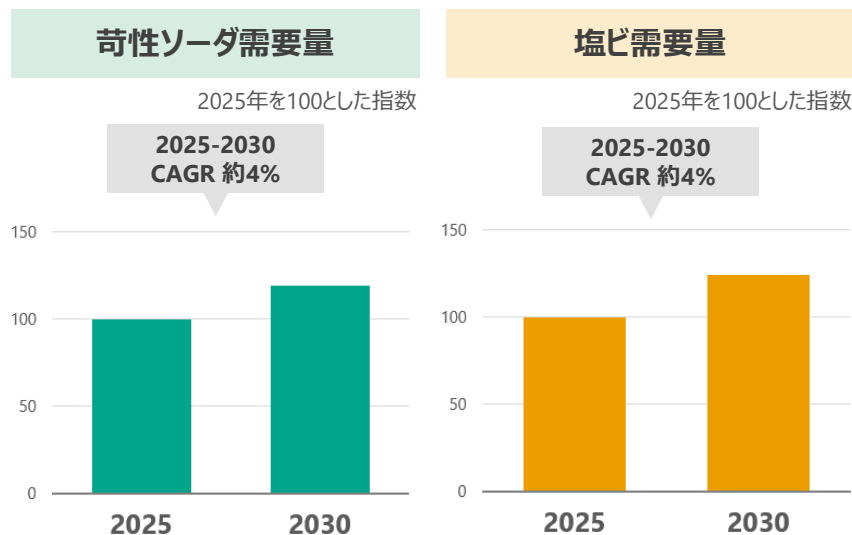
3

技術革新による競争力強化

競争力ある新製品を展開

- 堅調な東南アジア需要のもと、長期安定的な収益基盤
- 安定供給と強固な販売・物流網の強みを活かし、収益改善を目指す

東南アジアの苛性ソーダ・塩ビ需要 *



*市場データをもとにAGC推定

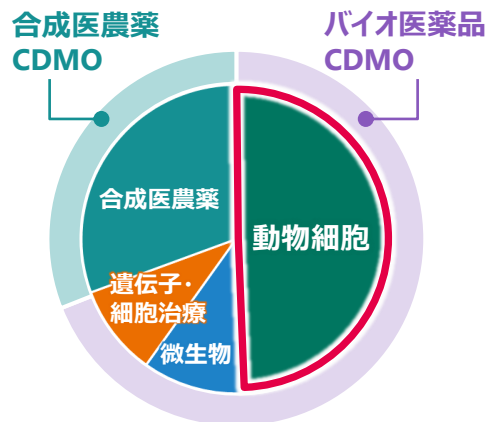
戦略

中東情勢不安定化に伴うサプライチェーンの混乱により再認識された安定供給の価値を訴求

- 東南アジア域内需要成長の確実な取り込み
 - 域内での販売比率向上による販売コスト削減・マージン拡大
 - 需要地立地と域内の販売・物流網を活かし、収益改善
- 競争力のある原料の確保
 - 域内供給エチレンの安定的確保と米国品含む調達ソースの多様化

- バイオ医薬品CDMOのうち微生物と遺伝子・細胞治療、および合成医農薬は、安定した実績と品質を維持
- 動物細胞のコスト削減・生産の安定化は計画通り進捗
- 2027年の黒字化を目指し、受注拡大の取り組みを継続

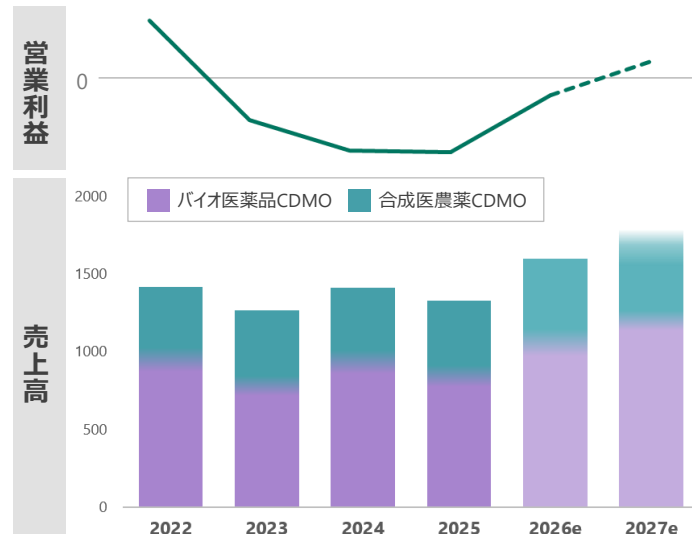
モダリティ別売上高構成比 (2025年)



動物細胞の主な取り組み

コスト削減	■ コロラド拠点閉鎖、人員削減実施済み ■ 売却プロセスは継続中
生産の安定化	AGCグループの生産技術力活用 デジタル・AI活用
受注拡大	営業・マーケティング強化

ライフサイエンス 売上高と営業利益見通し (億円)



- AGC Biologics横浜サイトの建設は予定どおり進捗
- 2027年にGMP*準拠商業生産開始に向け着実に前進
- 大手バイオ医薬品企業と長期製造契約を締結
- 設備・技術力が評価され戦略的パートナーに選定



横浜サイトのイメージ図

- 全社ROCE10%（ROE8%相当）を目指し、全ての事業で営業利益の向上と営業資産の適正化を図る

営業利益の向上施策

	コスト削減 (安定生産・生産性改善)
	価格政策
	高付加価値化

営業資産の適正化

	投資の厳選
	在庫の削減
	事業の売却・撤退

AI・データセンターの
先端半導体向け製
品については、需要
増に合わせタイムリー
に増産投資を実施

付属資料

営業利益に対するインパクト



為替

1%円安で
5億円*増益

*JPYに対して全ての通貨が同じ割合で動いた場合の
影響額



原油

1バレルあたり
1ドル上昇した場合
2.6億円*減益

*ヘッジ影響除く



化学品 市況

1 苛性ソーダ

国際市況が
\$1上がると**\$1.3M**の増益

2 塩ビスプレッド

\$1上がると**\$1.7M**の増益*

*塩ビスプレッド：塩ビ市況－(エチレン市況×0.5)

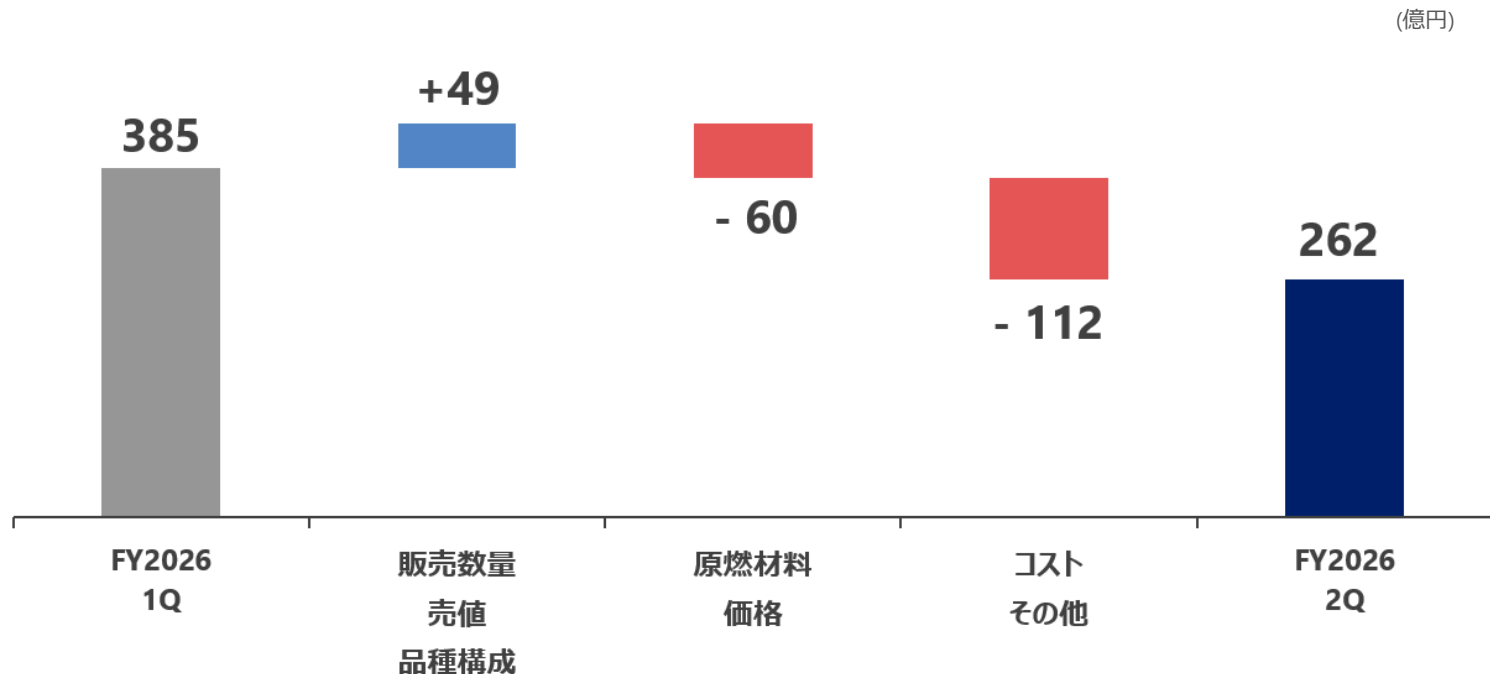
2026年の主要経済・市場の当社想定 (本年2月発表資料再掲。中東情勢影響は織り込まず)

■ 厳しい状況が継続する市場はあるが、グローバル経済は緩やかに成長

経済・市場	2026年の想定	特に影響を受ける事業
グローバル経済	AI関連投資の拡大や主要国における金融環境の緩和を背景に、 緩やかに成長	全事業 (+ -)
欧州経済	景気 停滞が継続	建築ガラス・オートモーティブ (-)
中国経済	景気 停滞が継続	エッセンシャルケミカルズ東南アジア (-)
米国経済	景気は 底堅く推移	エレクトロニクス (+)
自動車市場	生産台数は弱含みも、高機能化は継続	オートモーティブ (+ -)
苛性ソーダ・塩ビ市況	東南アジアの塩ビ・苛性ソーダの市場価格は 低水準が継続	エッセンシャルケミカルズ東南アジア (-)
半導体市場	半導体市場はAI関連分野が牽引し 成長	エレクトロニクス・パフォーマンスケミカルズ (+)
スマートフォン市場	生産台数は横這いも、高機能化は継続	エレクトロニクス (+)
TV市場	台数は横這いも、TVセットの大型化は継続	ディスプレイ (+)
バイオ医薬品CDMO市場	緩やかに回復	ライフサイエンス (+)

営業利益増減要因分析 (2Q FY2026 vs 1Q FY2026)

前四半期比 123億円減益



地域別業績 前年同期比較

	(億円)		
	FY2025 1-2Q累計	FY2026 1-2Q累計	増減
売上高	9,955	11,006	+ 1,051
日本・アジア	6,241	6,789	+ 549
アメリカ	1,193	1,305	+ 112
ヨーロッパ	2,521	2,912	+ 391
営業利益	540	647	+ 106
日本・アジア	805	839	+ 34
アメリカ	▲ 30	14	+ 45
ヨーロッパ	19	81	+ 62
地域共通費用	▲ 253	▲ 287	▲ 34

為替差影響

+679億円

連結範囲変更の影響

▲16億円

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	2Q FY2026	367	79	722	5	1,173
	2Q FY2025	361	70	632	4	1,068
 オートモーティブ	2Q FY2026	665	319	441	0	1,426
	2Q FY2025	623	281	364	0	1,269
 電子	2Q FY2026	720	111	3	7	841
	2Q FY2025	702	106	2	5	815
 化学品	2Q FY2026	1,562	114	67	4	1,748
	2Q FY2025	1,232	87	89	10	1,417
 ライフサイエンス	2Q FY2026	73	43	247	4	366
	2Q FY2025	81	47	189	8	325
 セラミックス・その他	2Q FY2026	93	0	-	41	133
	2Q FY2025	91	-	-	55	146
消去	2Q FY2026	-	-	-	▲ 61	▲ 61
	2Q FY2025	-	-	-	▲ 82	▲ 82
合計	2Q FY2026	3,480	666	1,481	-	5,626
	2Q FY2025	3,090	592	1,277	-	4,959

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計
 建築ガラス	1-2Q FY2026	712	145	1,429	8	2,293
	1-2Q FY2025	707	144	1,243	14	2,108
 オートモーティブ	1-2Q FY2026	1,329	622	851	1	2,803
	1-2Q FY2025	1,270	559	726	1	2,557
 電子	1-2Q FY2026	1,496	230	6	12	1,744
	1-2Q FY2025	1,428	239	5	9	1,681
 化学品	1-2Q FY2026	2,943	227	143	8	3,320
	1-2Q FY2025	2,510	173	155	22	2,859
 ライフサイエンス	1-2Q FY2026	147	81	484	11	723
	1-2Q FY2025	147	78	392	18	635
 セラミックス・その他	1-2Q FY2026	163	0	-	81	243
	1-2Q FY2025	178	-	-	102	280
消去	1-2Q FY2026	-	-	-	▲ 120	▲ 120
	1-2Q FY2025	-	-	-	▲ 166	▲ 166
合計	1-2Q FY2026	6,789	1,305	2,912	-	11,006
	1-2Q FY2025	6,241	1,193	2,521	-	9,955

売上高・営業利益 セグメント・四半期別推移 (1)

(億円)

建築ガラス	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026	2Q FY2026
売上高	1,040	1,068	1,100	1,203	1,120	1,173
アジア	346	361	390	438	345	367
欧米	685	703	705	761	773	801
(セグメント間)	10	4	5	4	2	5
営業利益	▲ 9	42	68	72	47	41

オートモーティブ	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026	2Q FY2026
売上高	1,287	1,269	1,299	1,350	1,376	1,426
オートモーティブ	1,287	1,269	1,299	1,349	1,376	1,426
(セグメント間)	1	0	1	1	1	0
営業利益	77	74	83	59	86	47

電子	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026	2Q FY2026
売上高	867	815	915	954	903	841
ディスプレイ	458	443	461	485	469 ^{*1}	432
電子部材	405	367	450	463	429 ^{*1}	402
(セグメント間)	4	5	4	5	5	7
営業利益	140	104	116	115	123	64

売上高・営業利益 セグメント・四半期別推移 (2)

(億円)

化学品	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026	2Q FY2026
売上高	1,441	1,417	1,455	1,529	1,572	1,748
インテグレイテッドケミカルズ	717	741	750	812	784	872
エッセンシャルケミカルズ東南アジア (セグメント間)	712 12	666 10	695 9	701 16	784 4	872 4
営業利益	111	115	171	134	152	129

ライフサイエンス	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026	2Q FY2026
売上高	310	325	326	369	356	366
ライフサイエンス (セグメント間)	300 10	317 8	324 2	353 16	349 7	363 4
営業利益	▲ 62	▲ 58	▲ 43	▲ 60	▲ 33	▲ 27

全社	1Q FY2025	2Q FY2025	3Q FY2025	4Q FY2025	1Q FY2026	2Q FY2026
売上高	4,996	4,959	5,167	5,467	5,380	5,626
営業利益	258	282	408	326	385	262

セグメント別業績進捗

(億円)

	FY2026 1-2Q (a)		FY2026e (b)		進捗率 (a)/(b)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 建築ガラス	2,293	88	4,800	200	48%	44%
 オートモーティブ	2,803	133	5,100	320	55%	42%
 電子	1,744	187	3,600	450	48%	42%
 化学品	3,320	282	6,800	560	49%	50%
 ライフサイエンス	723	▲ 61	1,600	▲ 50	45%	-
 セラミックス・その他	243	15	600	20	41%	75%
消去	▲ 120	2	▲ 500	0	24%	-
合計	11,006	647	22,000	1,500	50%	43%

数量・価格動向

				2025				2026	
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
前年同四半期比 (YoY)									
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	▲1桁半ば	▲1桁半ば	横ばい	+1割強	+約1割	+1割弱
			価格	▲1桁半ば	▲1割弱	▲10%台半ば	▲1割強	▲1割強	▲1桁半ば
		欧州 ^{*2}	数量	+1桁半ば	▲1割強	微減	微減	▲1割弱	▲1桁半ば
			価格	▲1割弱	+2割強	+4割弱	+約4割	+約3割	+1桁半ば
	自動車生産台数 (S&P global 7/2データより)	日本	数量	+12%	+2%	▲3%	▲2%	+3%	+3%
		北米	数量	▲5%	▲4%	+5%	▲1%	▲1%	▲1%
		欧州 ^{*2}	数量	▲6%	▲0%	+4%	+1%	▲0%	▲5%
電子	ディスプレイパネル需要 ^{*1} (Omdia社)	グローバル	面積	+10%	▲3%	+7%	+5%	+0%	+3%

^{*1} 出典：Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 2Q26 Pivot, July 2026

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

^{*2} 東欧を除く

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	FY2024	FY2025	FY2024	FY2025	FY2024	FY2025	FY2024	FY2025
 建築ガラス	164	173	413	435	5.5%	5.2%	3,000	3,300
 オートモーティブ	139	293	464	611	4.2%	8.5%	3,350	3,450
 電子	545	475	1,076	971	9.2%	8.2%	5,950	5,800
 化学品	568	530	1,102	1,084	7.8%	7.0%	7,250	7,600
 ライフサイエンス	▲ 212	▲ 223	▲ 55	▲ 70	▲ 10.1%	▲ 9.3%	2,100	2,400
 セラミックス・その他	51	26	69	43	25.6%	10.4%	200	250
消去	4	1	2	▲ 1	—	—	—	—
合計	1,258	1,275	3,071	3,073	5.8%	5.6%	21,850	22,800

		IFRS				
		21/12	22/12	23/12	24/12	25/12
売上高	百万円	1,697,383	2,035,874	2,019,254	2,067,603	2,058,832
営業利益	百万円	206,168	183,942	128,779	125,835	127,465
営業利益率	%	12.1	9.0	6.4	6.1	6.2
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	123,840	▲ 3,152	65,798	▲ 94,042	69,162
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	10.2	▲ 0.2	4.6	▲ 6.5	4.7
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	7.9	6.7	4.5	4.3	4.4
自己資本比率	%	49	49	49	50	50
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.41	0.41	0.42	0.39	0.37
有利子負債 / EBITDA *3	倍	1.6	1.8	2.3	2.1	2.1
営業CF / 有利子負債	倍	0.54	0.33	0.31	0.44	0.43
一株当たり当期純利益 (EPS)	円	559.11	▲ 14.22	304.73	▲ 443.71	326.20
一株当たり配当金	円/年	210	210	210	210	210
DOE	%	3.8	3.4	3.2	3.1	3.0
為替レート (期中平均)	円/ドル	109.80	131.43	140.56	151.58	149.71
	円/ユーロ	129.89	138.04	152.00	163.95	169.00

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

その他の財務指標についてはこちらを参照ください  https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。



Your Dreams, Our Challenge